

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 垂水町・村田HSMマンション新築工	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市垂水町3丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	54人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2020年12月23日
敷地面積	528㎡	作成者	Urbano Design 安松高志
建築面積	287㎡	確認日	
延床面積	2,152㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 85%  
③上記+②以外の 85%  
④上記+ 85%

92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	節水型便器やLED照明を計画するなどして、建物全体の一次エネルギー消費量を削減し地球環境への負荷を軽減する設計となっている。	<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b>	音環境に配慮(遮音性能が「T-2」の窓を計画)	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地を適切に配置。
<b>LR1 エネルギー</b>	LED照明を採用することによって、一次エネルギー消費量の削減に寄与。	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告物照明を行わない為、光害への抑制に寄与している。
<b>Q2 サービス性能</b>	ゆとり空間を提供し、耐用年数が高い配管を採用するなどサービス性能の向上に資する設計となっている。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	環境に配慮した吹付断熱材の採用(吹付硬質ウレタンフォームA種1)	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0135

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)垂水町・村田HSマンション新築工事					
		建設地	大阪府吹田市垂水町3丁目					
		用途/区分	集合住宅 物販店					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					3		
④	エネルギー削減					5		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.6	4		
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			1.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価			3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			2.8	3		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			4.8	5		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-		
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								